

Favorite City feat Mizubering ube

～まじめ川を利用したお気に入りのまちづくり～



宇部版ミズベリング研究会

2017年10月

「photo: 真締川やすらぎ橋より樋ノ口橋を望む」



目次

- 1 宇部版ミズベリング研究会構想とは
- 2 構想取りまとめイメージ全体像
- 3 文教・医療エリア
- 4 住居エリア
- 5 行政・商業エリア
- 6 シーサイドエリア

宇部版ミズベリング研究会構想とは

私達、宇部版ミズベリング研究会は平成28年6月に真締川における水辺の新しい活用方法を創造し、新しい人の流れ・賑わいを生み出すことを目的として、研究会を立ち上げました。

研究会では取り組みの根本となる構想を作成するために、市民の皆様が真締川が「どうあってほしい」、「どうなってほしい」かの要望を把握する必要があると判断し、平成28年7月に「真締川ミズベリングワークショップ」を開催し、ワークショップで集まった意見を「未来構想図」にとりまとめ、その「未来構想図」を参考に、その夢をかなえるとどうなるかを実証するために社会実験的イベントとして平成28年10月に「まじめ川Fes」、平成29年4月に「SAKURAまじめ川Fes」を開催しました。

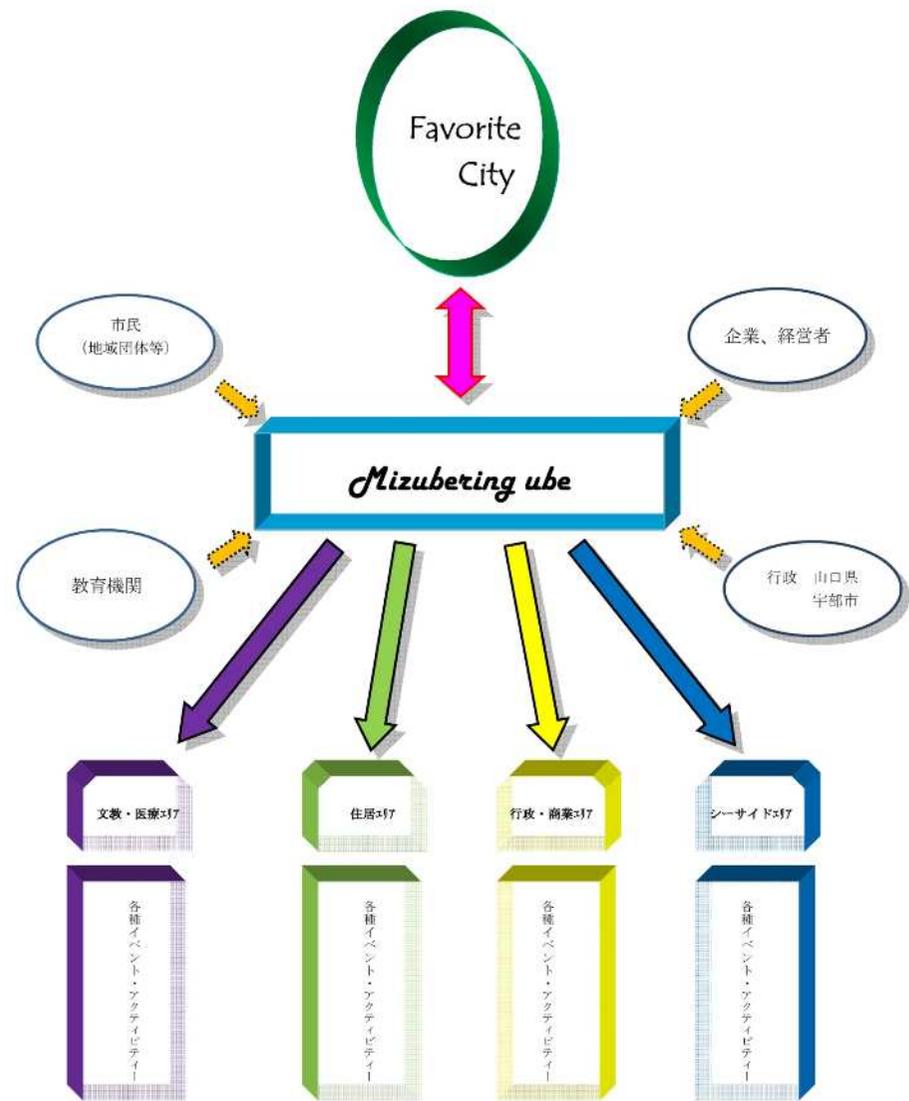
参加された市民のみならずからは、好評をいただいております。研究会の取り組みに対して期待や改善点のご意見を多く寄せていただいております。

また、社会実験的イベントを繰り返すことで、真締川への関心も高まってきている状況です。

研究会では、市民のみな様の期待や要望を具現化するための根本となる構想を、北は山口県立宇部工業高等学校から南は河口までの範囲を「文教・医療エリア」、「住居エリア」、「行政・商業エリア」、「シーサイドエリア」の4ブロックで、「Favorite City feat Mizubering ube」～まじめ川を利用したお気に入りのまちづくり～として取りまとめ、今後も、市民のみな様と真締川の「あるべき姿」、「求められる姿」を研究し関係機関に提案してまいります。

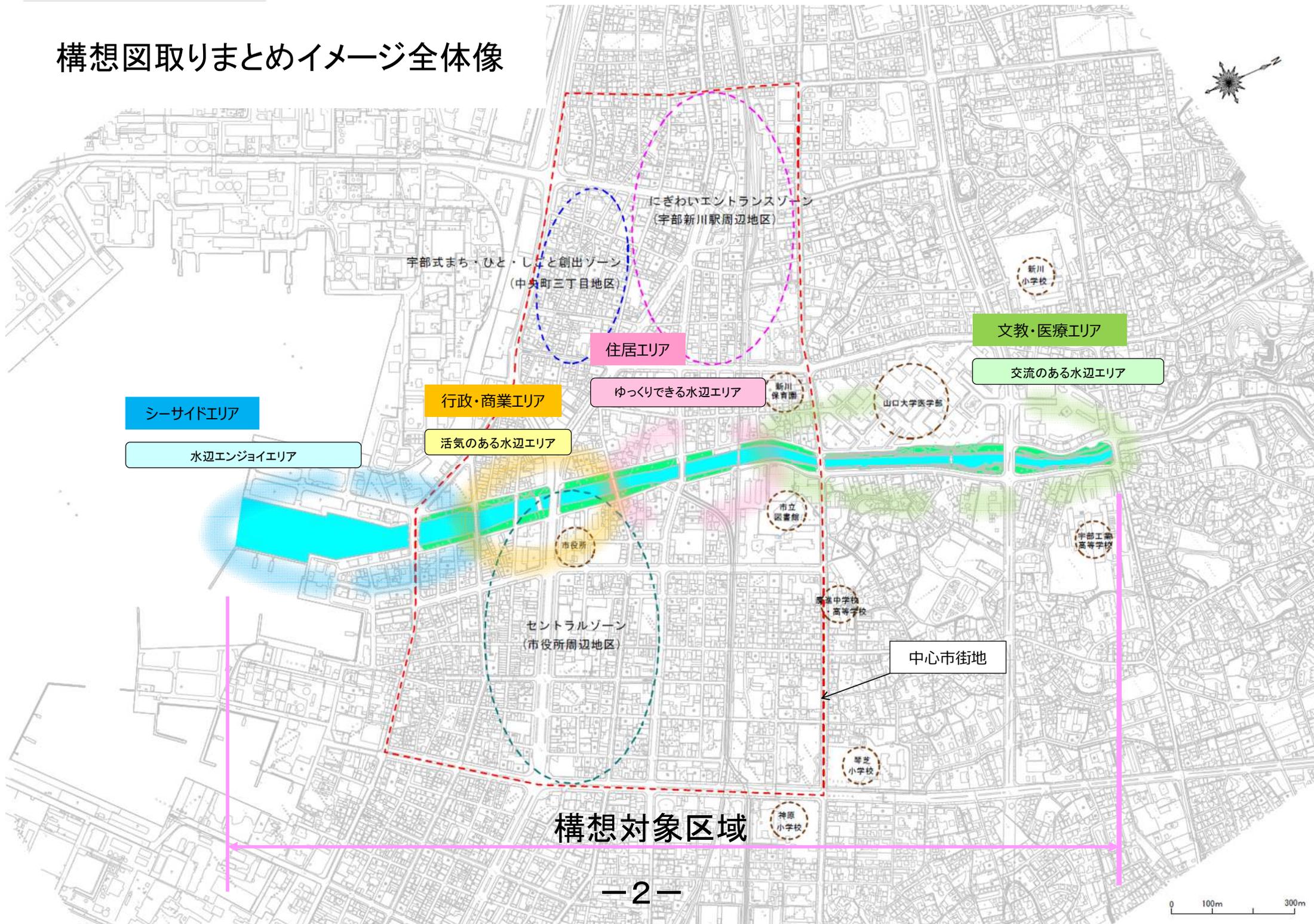
平成29年10月

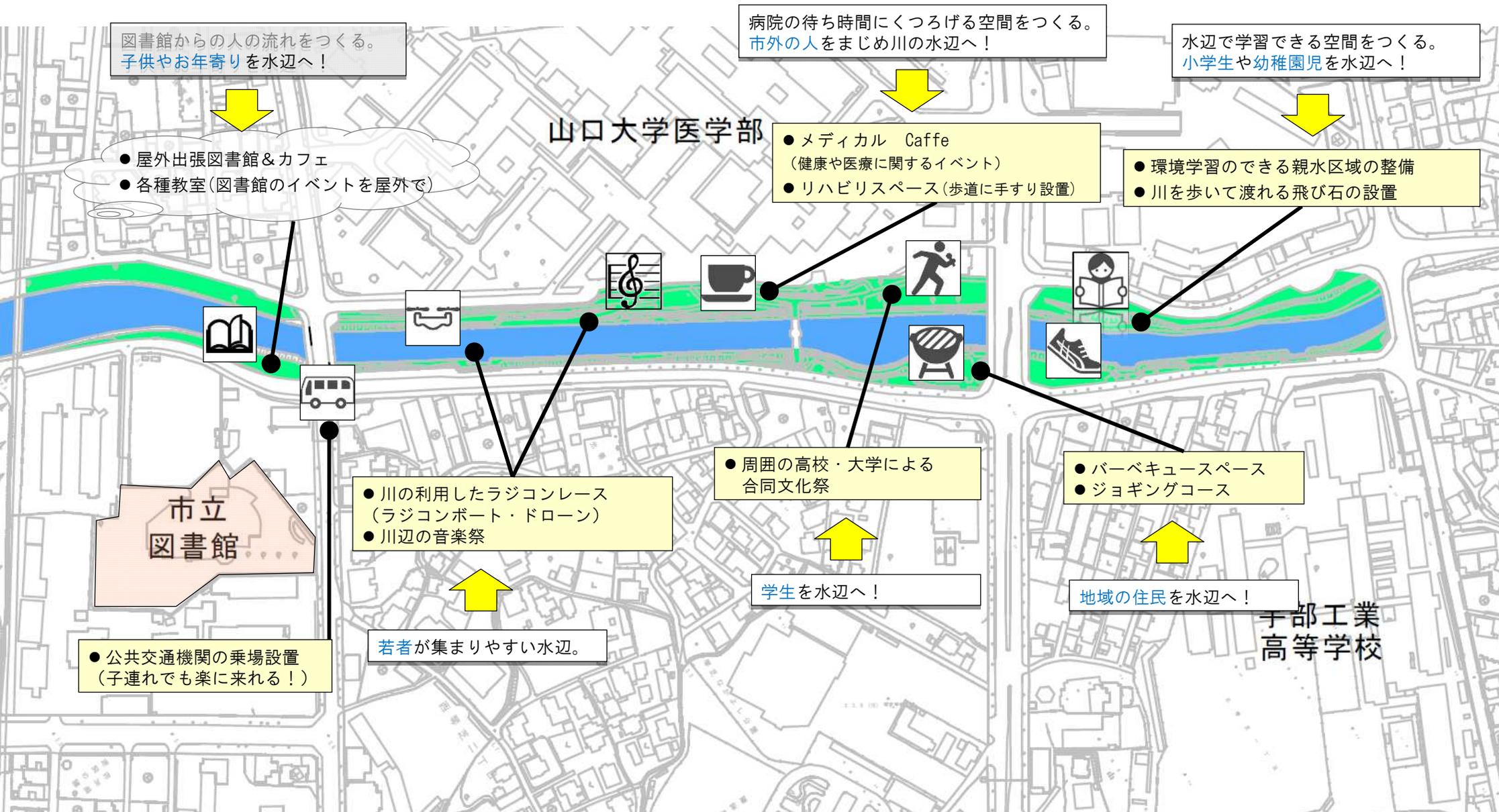
宇部版ミズベリング研究会 座長 山田 節子



「構想の概念フロー図」

構想図取りまとめイメージ全体像





住居エリア

ゆっくりできる水辺エリア

小さな子供連れでもゆっくりできる水辺

子供がゆっくりできる水辺

防犯

- 木の間引き (見通し改善)
- 外灯の設置
- 花壇の整備 (手入れをする人の存在が防犯)

遊び

- 遊具の充実
- ハンモック体験

- 公共交通機関の乗場設置 (子連れでも楽に来れる！)

- トイレの整備 (オムツ替えシート付)
- テーブル、チェアの設置
- 親が子供を預けれるイベント

親同士のつながりが広がる

- ドッグラン
- 犬の里親探し

ペットとゆっくりできる水辺

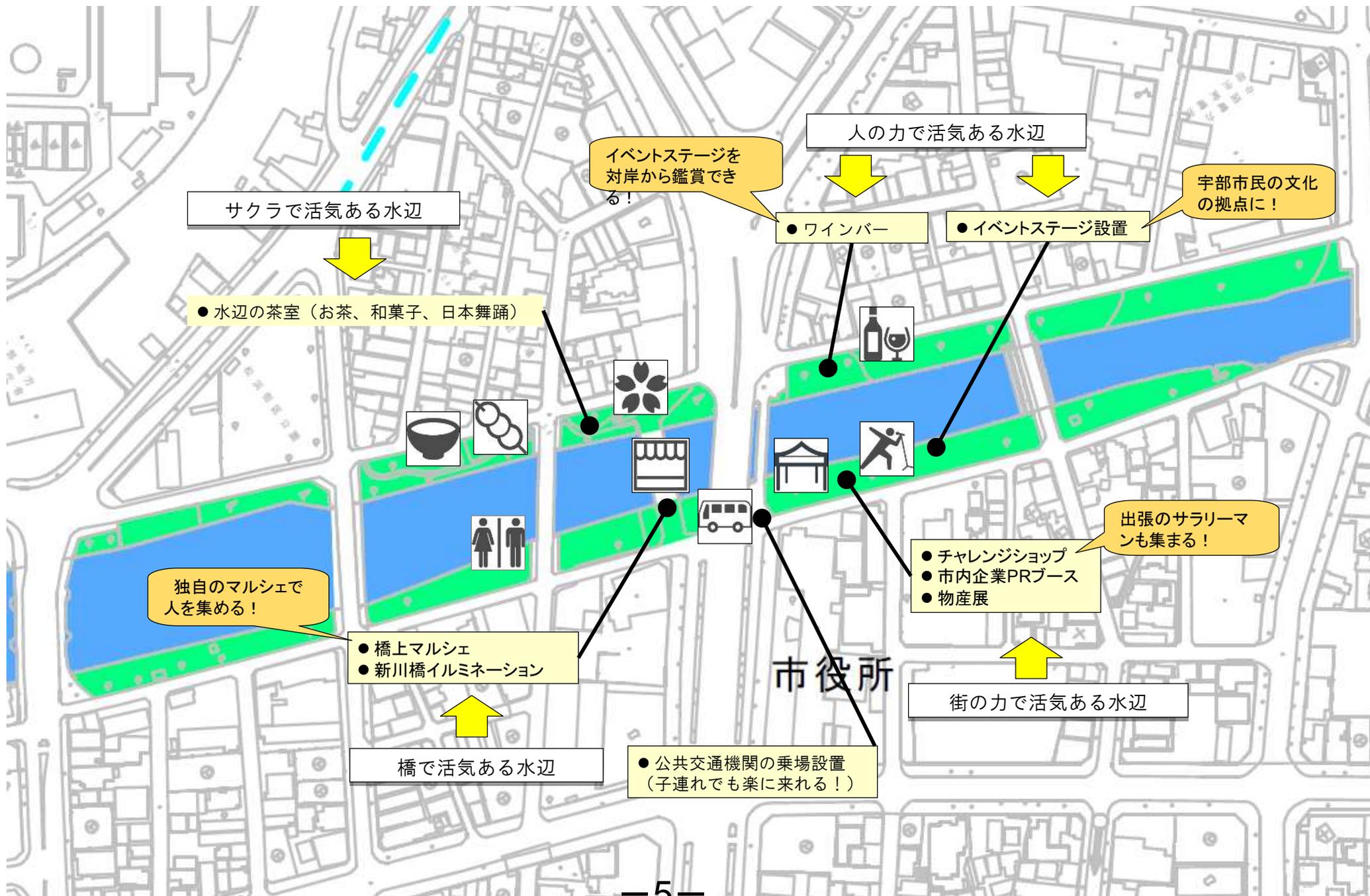
- 町内会中心のイベント
- 町内フリーマーケット
- 子どもと遊ぶイベント
- 公園清掃活動
- 散歩できる歩道の整備

地域のつながりが強くなる

住民がゆっくりできる水辺。

市役所

市立図書館



シーサイドエリア

水辺エンジョイエリア

ランドマークで人を呼び込む

- 海辺を生かした建物
- ランドマーク



- 日本酒バー
- シーフード



釣った魚や軽トラ市で買った魚介をその場で食べる！



- 軽トラ市（新鮮な魚介）

花火大会に合わせて名物に！

- 灯籠流し
- シーサイドに合うイルミネーション
- スケッチ大会



- シーカヤック探検ツアー（海から上流へ）
- 宇部港内クルーズ



- ジェットパック体験
- ジェットブレード体験
- ホバーボード体験
- ジェットバイダー体験

子供から大人まで楽しめる



- 公共交通機関の乗場設置
（子連れでも楽に来れる！）



- つり堀
- 釣り大会